

献血について

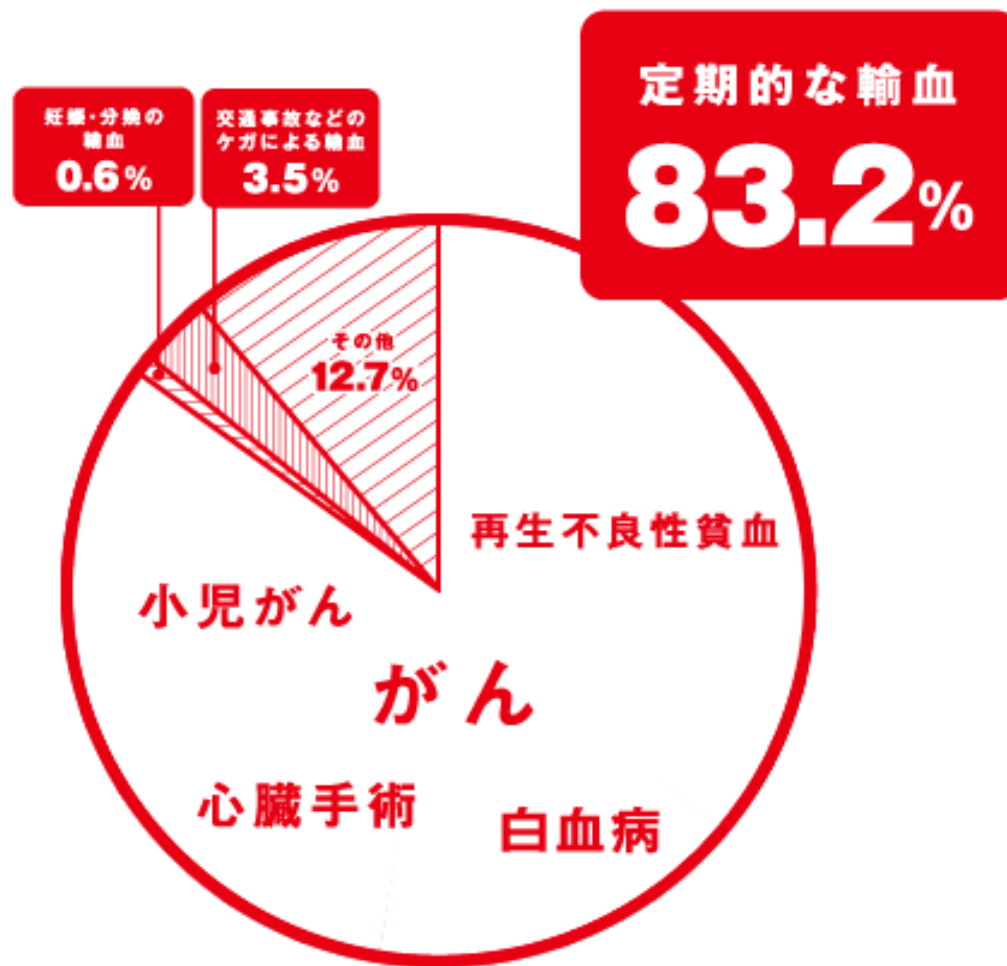


なぜ、献血が必要なのか？

- 輸血用の血液は人工的に作ることができない。
- **献血でご協力いただいた血液のみが、**
患者様に輸血用血液として使用されます。

献血した血液の80%以上は
病気の治療に毎日使われています。

輸血が欠かせない患者さんのために
1年、365日血液が必要です。



1日平均約3,000人の人が輸血を必要としています

血液製剤の有効期間

| | | |
|-------|--|------------------|
| 赤血球製剤 |  | ●有効期間 採血後21日間 |
| 血小板製剤 |  | ●有効期間 採血後4日間 |



赤血球製剤や血小板製剤は長期保存ができません。

一度に必要な量を大幅に上回る献血をいただいても、有効的に使用する事ができません。そのため、血液製剤を安定的に医療機関に届けることができるように、毎日必要な量の献血をお願いしています。

全国の血液使用状況



| 平成29年度血液供給本数 | |
|--------------|------------|
| 全国 | 5,068,171本 |
| 関東甲信越ブロック | 1,854,125本 |
| 群馬センター | 81,217本 |
| 栃木センター | 77,855本 |
| 長野センター | 69,745本 |

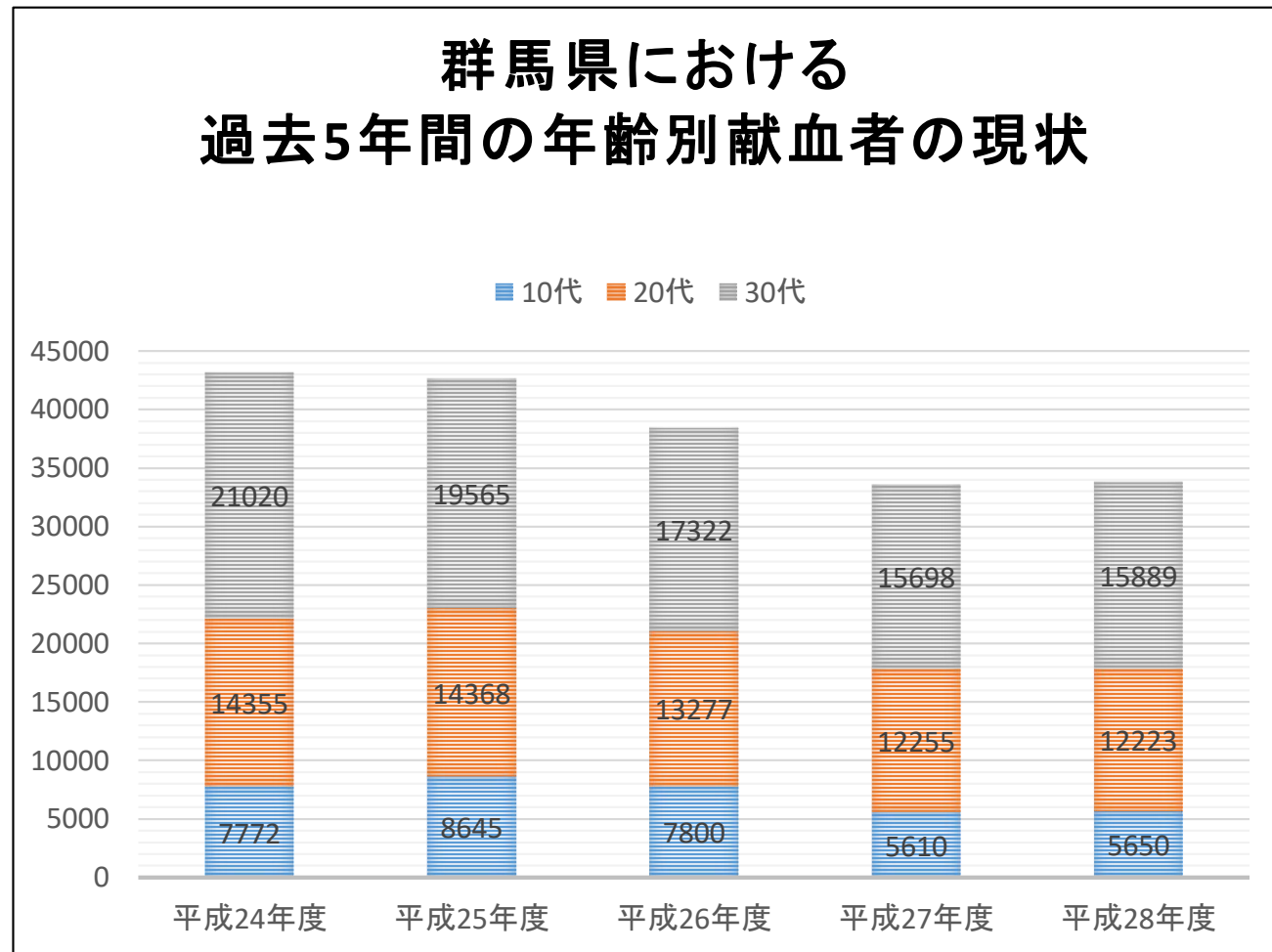
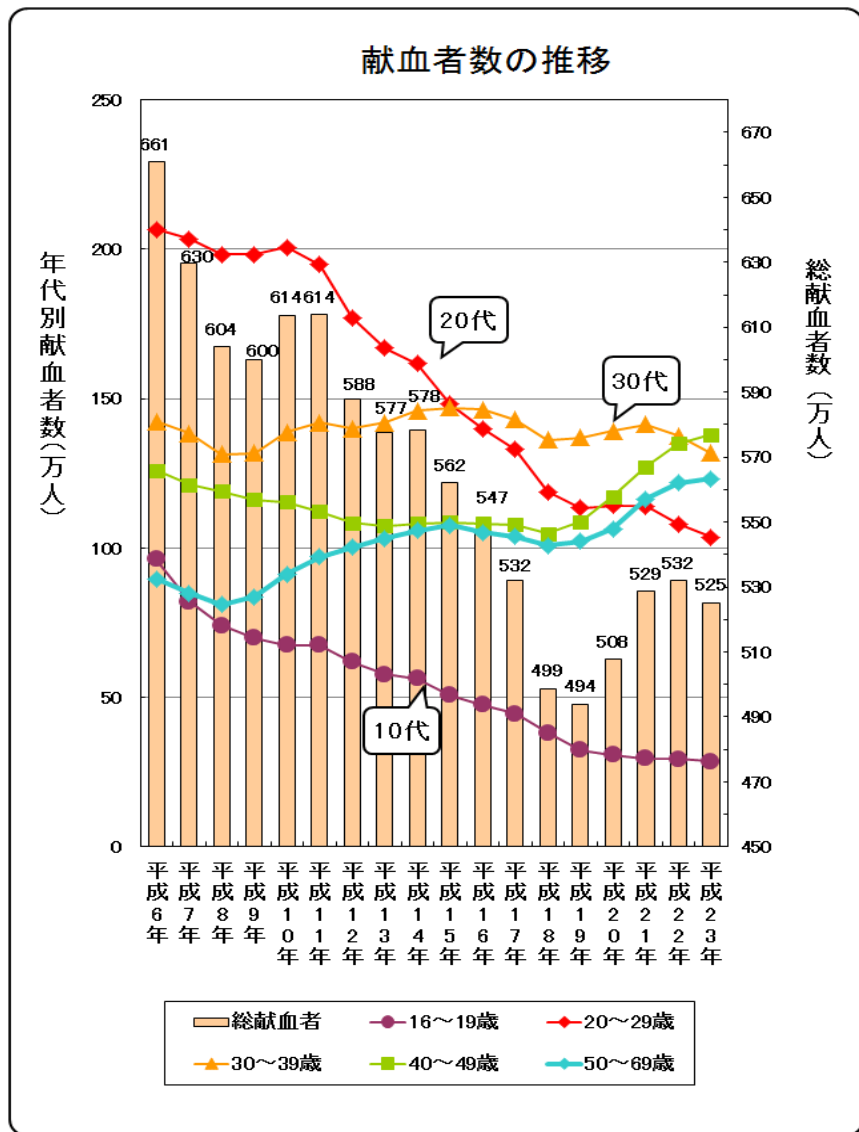
(人口約199万人)

(人口約198万人)

(人口約214万人)

群馬県では1日当たり平均約240本の輸血用血液製剤が医療機関に届けられています。血漿からつくられる製剤分や不適分を含めて**1日に約300名の献血者が必要**です。群馬県は人口の同じような県と比較しても、**血液の使用量が多い**です。そのため、より多くの県民の方にご協力が必要となります。

少子高齢化・若年層の献血者減少



(厚生労働省HP:血液事業の現状より)

400mL 献血に ご協力をお願いいたします。

400mL 献血は、200mL 献血に比べて献血量が多いことから、少ない献血者からの輸血を可能にし、安全性を向上させる献血の種類と言えます。血液センターでは献血いただく方のご意思を優先し、献血によって体調を崩すことのないよう、医師の問診により健康状態について慎重に確認した上で、400mL 献血のご協力をお願いしています。

※ 200mL 献血については、医療機関からの要請状況により受付をお断りさせていただく場合もあります。

■ **採血の基準** ※65歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60～64歳のあいだに献血経験がある方に限ります。

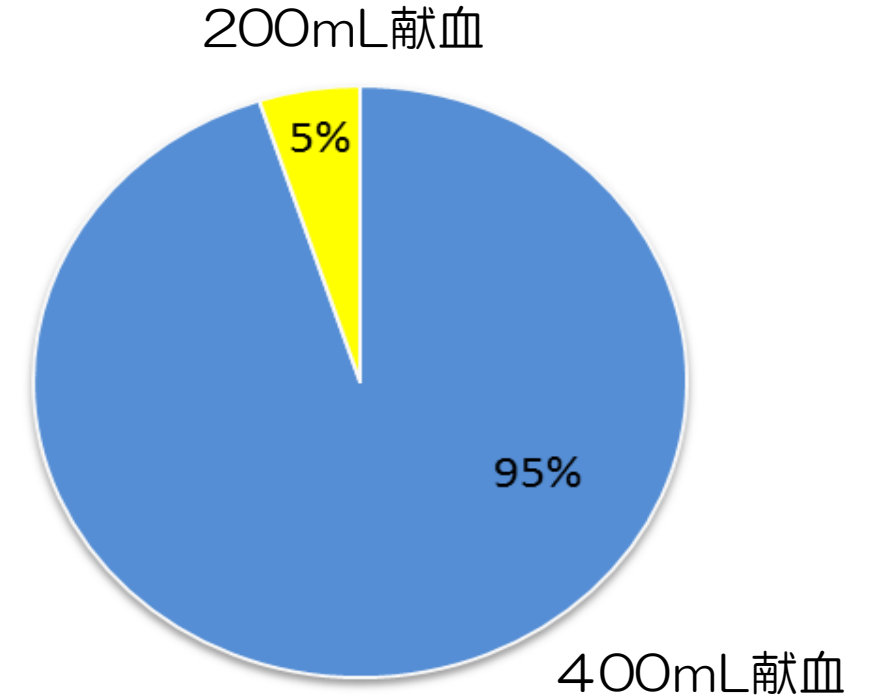
| 項目 | 献血の種類 | 全血献血 | | 成分献血 | |
|----|-------|--------------------------|-------------------|----------|--------------------------|
| | | 400mL献血 | 200mL献血 | 血漿成分献血 | 血小板成分献血 |
| 年齢 | | 男性17歳～69歳※ 女性18歳～69歳※ | 16歳～69歳※ | 18歳～69歳※ | 男性18歳～69歳※ 女性18歳～54歳※ |
| 体重 | | 男女とも50kg以上 | 男性45kg以上・女性40kg以上 | | |

- 献血カードをお持ちの方は、次回の献血可能日を確認してください。
- 詳しくは、ホームページをご参照ください。
- 服薬されていても、献血できる可能性があります。詳しくはスタッフへご確認ください。

400mL 献血の必要性



医療機関からの要請



※数値は2010年のデータを参照

病院が必要とする輸血用血液の大部分が
400mL 献血から作られる製剤です

服薬等について

献血にご協力いただくにあたり、
お薬の**服薬から3日間**は
献血のご協力をご遠慮いただく場合があります。



【服薬していても献血可能な薬】

当日の服用でも可

・血圧降下剤、コレステロールの薬、抗アレルギー薬（一部のステロイド薬を除く）、尿酸降下剤ほか

前日の服用まで可

・頭痛薬、市販の風邪薬、ほか

【予防接種】

接種後**24時間**より献血可：インフルエンザ、日本脳炎、肺炎球菌、破傷風、ほか

接種後 **2週間**より献血可：B型肝炎

接種後 **4週間**より献血可、風疹、麻疹、ほか

【ただし、献血可否の最終判断はあくまでも当日の医師に委ねられます】

献血が出来ない例



- ・ 輸血を受けたことがある方
- ・ 海外からの帰国後4週間経過していない方
- ・ 3日以内に出血を伴う歯科治療を受けた方
- ・ エイズ検査目的の方
- ・ 過度の空腹や睡眠不足であると思われる方